



NPO法人 西東京市多文化共生センターだより

Nishitokyo Multicultural and International Center News

2011年7月1日発行 (季刊)
[編集/発行]
NPO法人 西東京市多文化共生センター
〒202-0023 西東京市新町 1-12-3

「わ」には 平和 人の和の「和」と
ひと 輪 地域の輪の「わ」が込められています

緊急情報！サイトで情報発信

東日本大震災発生・その時NIMICは

震災の発生と多言語情報の提供



NIMIC 地震情報ホームページ
<http://www.nimic.jp/i/index.html>

NIMICでは、震災発生翌日の3月12日から、ホームページ上で多言語による「地震情報」の提供を2種類行なっていました。1つは西東京市のホームページに掲載された「東日本大震災関連情報」の中から、NIMICでやさしい日本語化・よみがなをつけ、更に翻訳したもの、もう1つはさまざまな団体によって外国人向けに提供された翻訳情報などのリンクです。*)図は計画停電について英語・中国語・韓国語・タガログ語で翻訳した地震情報の掲載ページ

このたびの東日本大震災で被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。
今号の会員への郵送には、東日本大震災寄付金付き切手を使用しました。



情報掲載の反響とメディアの取材

ホームページを見た方から翻訳協力の申し出が複数

ありました。3月14日には市のホームページ、4月1日号市報、さらにホームページ担当と多言語部会がFM西東京の取材を受け、4月9日の番組で紹介されました。こうした紹介を受け、アクセス数が通常時の8倍に跳ね上がった日もあります。これからも、夏の計画停電など、少しずつ更新しながら続けてゆこうと思います。



FM西東京の取材風景

(イングリッシュ多文化共生センターにて)

NPO法人 西東京市多文化共生センターの生い立ちと活動内容

生い立ち

西東京市多文化共生センターは、「国際交流組織設立検討会」メンバー作成の提言書「多文化共生社会に向けて」の理念の通り、懇談会メンバーを中心として2006年3月に設立されました。2008年10月に、特定非営利活動法人の認証を受け、「NPO法人西東京市多文化共生センター(愛称: NIMICニミック)」として再出発しました。

私たちの活動理念

異なる文化的背景を持つ人々が、宗教や信条、生活習慣の違いを互いに理解し尊重し合い、偏見や差別意識を持つことなく、共に地域で暮らす「多文化共生社会」を築くことで、世界平和に寄与することを目指して活動します。「外国人*にとって住みやすい社会は、みんなにとって住みやすい社会」と考え、外国人支援、および受け入れられる地域社会の啓発活動を通じて、市民活動の育成を図ります。
*一般的に理解しやすい「外国人」を使用していますが「多様な文化を持つ人々」を指します。

地域に在住する外国人支援

- ・相談窓口運営・・・月曜～金曜(日常生活相談)
- ・多言語サポート・・・通訳ボランティアによる市報抜粋多言語版「くらしの情報」作成、相談窓口通訳、学校や市の機関への通訳派遣

- ・子ども日本語教室(小学部・中学部)・・・外国にルーツを持つ小・中学生の日本語学習サポート教室(毎週開講)

多文化理解の促進

- ・子どものための多文化ワークショップ、英語で遊ぼう、留学生ホームビジット、音楽やゲーム(市民まつり)を通しての多文化理解、言語と文化を楽しむ多文化・多言語サロン等の活動

多文化共生に向けての活動の活性化、ネットワークづくり

- ・日本語ボランティア入門講座、多文化ボランティア講座など各種講座の開講
- ・多文化共生を進めるボランティアや団体の支援・ネットワーク化
- ・会員対象のイベントや事業参加を募る目的で毎月メルマガを発行
- ・ホームページを通じ活動の理解を呼び掛け、2010年度から季刊広報紙を発行

ほとんどの事業は「実行委員会形式」による実施で、事業実施日の数か月前に、会員から実行委員を募集して企画から運営を担当します。

また、1か月前くらいに「当日スタッフ」を募集し、多くの会員の協力により事業を実施する市民活動です。

ねんとおも じぎょうけいかく き
■2011年度主な事業計画決まる■

がつ にち ねんどうそくかい ねんどう じぎょうけいかくおよ よさん
 5月15日のNIMIC 2011年度総会で、2011年度の事業計画及び予算
 が承認されました

おも じぎょうけいかく
主な事業計画

- 「留学生との世代横断的市立交渉」
 留学生ホームビジットと小学生とのワークショップ
- 多文化サロン
- ◎ 市誕生10周年記念「日本語スピーチコンテスト」
- 市民祭りに参加
- 子ども対象「英語で遊ぶプロジェクト」
- 子ども日本語教室
- ◎ 子連れde国際交流

しんきぎょう
 ◎は新規事業

※詳しい情報は「NIMIC通信」やNIMICホームページで
 ご紹介していきます。
 会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています!

たぶんか まち す
多文化めぐり この街に住んで

ねんまえ たいわん
7年前に台湾から・・・



セン ヤチ 倉 雅琪 さん

センさんが留学の
 ために日本へ来たのは
 今から7年前の2004
 年。大学院進学を
 目指して、はじめは3カ
 月ビザで国と日本の
 間を行き来しながら、
 2007年4月に中央

大学大学院に入学しました。

せんもん とししゃかいがく ちいししゃかいがく
専門は「都市社会学と地域社会学」

大学院での専門は社会学で、特に地域
 開発の分野に関心をお持ちです。台北近くの
 温泉のある町を毎年フィールド調査し、日本
 の温泉観光地の開発などを参考にいろいろ
 研究中。現在は大学院博士課程の3年で、
 これまでの研究をいよいよまとめる時です。

にほんごきょうしつ
きっかけは「日本語教室」

さすがのセンさんも日本に来た当時は日本語に
 も不安があったそうです。2005年の年末から
 田無の「西東京友愛協会」(FAN)、

「田無国際交流サークル」(TIC)に参加し、
 教室のボランティアの皆さんにとっても良くし
 ていただいたのがNIMICとのつながりのきっか
 けでした。

まどぐちつうやく
**センターの窓口通訳ボランティアで
 活躍中!!**

2009年からは多文化共生センターで窓口
 通訳ボランティアや多文化サロンの講師として
 活躍中ですが、「もっと誰でも日本という
 社会でいろいろな人々と話したり、コミュニケ
 ーションをとれることが大事」というセンさんは、
 将来は今の研究分野の指導者になること
 が希望ですが、これからも国と日本のいい関係
 も持ち続けたい、もし国へ戻っても年に1度は
 必ず行き来したいと話してくれました。

けっこんしき
結婚式もいろいろですね!

6月といえば、ジュンブライドの季節です。欧米を
 中心に6月に結婚すると幸せになれると言われてい
 ますね。これは、欧米では6月の気候が良く、結婚式を
 行なうなら天気の良い日がいい、ということに原因が
 あるようです。ですから、梅雨のある日本でジュンブラ
 イドに憧れると、てるてるぼうずが大活躍!ということ
 になるわけです。

また、「結婚式」とひとくちにいても、日本では、神前
 式/キリスト教式/仏教式/宗教に関係のない
 人前式などなど、いろいろあります。もしかしたら、世界
 で一番いろいろな結婚式が見られるのは日本かもしれま
 せんね。

では、日本に限らず「結婚式」といえば? どんな
 形式があるのでしょうか。

かんこく とう
韓国のチェジュ島

三日間にかけて結婚式が行われるそうです。一日目は、
 女性の友達が祝い、二日目は男性の友達が祝い、そして
 三日目に家族が祝うため、三日かか
 るのだそうです。

とても楽しそうですが、
 主役のふたりは緊張し
 続けて大変そうですね。



フィリピン

こちらに来られた方々が教えてくださったのは、
 NINANG (女性)とNINONG (男性)という役割の方が
 いてくれるということでした。これは、フィリピンではと
 て一般的な習慣のようです。地域による特別な習慣
 というわけではない、とのことでした。このNINANGと
 NINONGは、プレゼントをくれたり、お金を出してくれる
 スポンサー役とのこと。
 日本の仲人もご祝儀は出しますが、スポンサーという
 感じではないですよ。フィリピンの場合は、結婚式で始
 まる関係ではなくて、生まれて洗礼を受ける際に頼んで
 からずっと続いてきた関係だそうで、いってみれば、
 後見人のような役割を担うそうです。
 フィリピンの方が日本で仲人を頼まれたら、NINANG
 やNINONGと同じだと勘違いされてしまいそうだなと思
 いました。

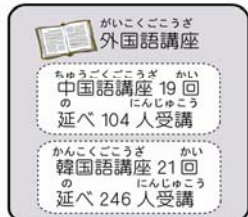
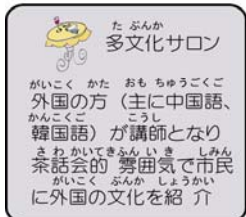
☆今回は、日本語教室で聞いたお話の中から構成しました。次回のテーマも「結婚式」です。皆さんの「結婚式」で驚いた
 お話を教えてください。お待ちしております!! なお、いただいたお話すべてを載せられない場合もあります。お許しください☆

にしとうきょうし たぶんかきょうせい
西東京市多文化共生センターについて

ねんどう たぶんかきょうせい りようじょうきょう
2010年度多文化共生センター 利用状況



かつどうじょうきょう
NIMICの活動状況



にしとうきょうし たぶんかきょうせい
西東京市多文化共生センターへのアクセス
 Nishitokyo Multicultural Center

〒188-0012 東京都西東京市南町5-6-18 イングビル1F
 ING Bldg. 5-6-18, Minami-cho, Nishitokyo 188-0012, Japan

まどぐちじかん げつようび きんようび
 窓口時間: 月曜日～金曜日

10:00am～16:00pm (12:00～13:00はお昼休み)

でんわ
 電話/FAX: 042-461-0381
 TEL/FAX: +81-42-461-0381
 E-mail: info@nimic.jp
 URL: <http://www.nimic.jp/>

せいぶしんじやくせん たなしえきみなみちゆう
 *西武新宿線 田無駅南口徒歩2分 JA並び

会員になると・・・
 ・NIMIC主催講座やイベントに会員価格で参加
 ・NIMIC主催イベントなどの実行委員としてご参加いただけます
 ・広報誌「多文化のわ」、月刊メールマガジンをお送りします

かい いん ぼしゅう ちゅう
会員募集中!!
 入会金無料、年会費は右記をご覧ください。

年会費: 個人・団体は2000円 学生は1000円
 (家族会員の制度もあります)
 ・入会申し込みは、イングビル1階 NIMIC事務所および
 NIMICホームページにてお申し込みください。
 お申し込み確認後、振込み方法をご連絡いたします。

【個人情報の取り扱いについて】

お預かりした個人情報は、会員への連絡および確認、印刷物郵送のために利用し、その他の目的での利用はいたしません。